北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢東高等学校長 渡辺 淳 一

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 生徒一人一人の学力や特性の把握に基づき、学習指導の個別化を図り、その能力の開発に努める。
- (2) 探究的な学習や主体的・対話的で深い学びを通じ、多様な他者と関わりながら学ぶ力を育成する。
- (3) 継続して登校できるよう、基本的な生活習慣の育成に努める。
- (4) 生命の大切さを意識させるとともに、日常の活動を通して自他を尊重する態度の育成に努める。
- (5) 社会的な自立を図るためのキャリア発達を促す系統的な指導計画に基づく進路指導を推進する。
- (6) 状況に応じて自ら適切に判断し、健康や安全を守ることのできる力を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○「わかる授業」・「個々の生徒に対応した授業」への評価はおおむね良好であるが、実践をさらに強化し、生徒が学びを通じて自己有用感を高められることが必要である。 ○ICT機器などの学習環境の整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力差のある生徒への指導は大変だとお察ししますが、学びの喜びを一人一人が感じられる指導をお願いしたい。 ・ICT機器の活用を重点的に。 ・資格の取得をめざしてもらいたい ・人はなぜ働くか？を意識した中で学習指導をお願いします。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を目指した生徒による授業評価や、わかる授業に向けた研修などを実施する。 ・ICT機器の活用を図り、自律的な学習に取り組めるよう支援する。 ・観点別評価の適正に実施に努め、学習指導と評価が一体となるように工夫する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○会議や日々の情報交換により、生徒情報の共有化と生徒理解を深め、基本的な生活習慣や望ましい生活態度の育成を図った。 ○岩東定時制の良いところに関するアンケートを行うなど、この学校に帰属する誇りを高められる工夫を行った。 ○年3回の個人面談週間を通じて、「全ての教職員が全ての生徒に関わっていく」指導体制を維持している。また、SCの活用を図り、悩み相談だけではなく、心を楽にする方法の指導などを行った。 ○いじめは絶対認めない姿勢を徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは絶対に防いでほしい。 ・社会生活に入っても、同窓の仲間としての意識が大切なことを知らしめてほしい。 ・おそらくは今までつらい思いをしてきたり、気持ちが優しく周囲に負けてしまう生徒も多いのだと思いますが、「自分はこのままで素晴らしい。」を実感できる指導をこれからも行ってほしい。 ・悪いことに関して、問題を抽出して改善策を模索することは当たり前だが、良かったことに関して、なぜ良かったのか成功の要因を考えてみることは素晴らしい取組だと考えます。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・非行事故（特別指導）等は皆無で落ち着いた状態の維持を目指す。 ・「思いやりの心」や「社会のルールを守る態度」の育成に努める。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○個人面談等を通して進路意識の向上を図ることができた。 ○4年制大学進学をはじめ、学校紹介での市内事業所への就職など、生徒それぞれの目標達成への支援ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学・就職・アルバイトの継続など、それぞれの人生をしっかり歩んでいこう指導を願う。 ・4年制大学への進学を支援してほしい。 ・学識は生きる上で大切なことなので、のぞむならば進学を叶えてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時からの進路目標設定に向けた体験的な取組などキャリア教育の充実を図る。 ・進路講話、企業見学や合同説明会など生徒の進路意識の高揚を図る取組に積極的に参加させるとともに、早期からのキャリア教育の体制の整備を進める。 	
その他改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・新設校への以降に向け、教務内規の改定や育成すべき生徒像の共有を行った。 ・情報機器を活用した授業等の充実を図るため 研修への参加を積極的に促す。 ・生徒の学習保障や自律的な学習の支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制でも「やればできる」ことを卒業生は後輩にその姿を見せてほしいと思います。 ・外部、特に会社とのつながりで仕事に対する前向きなイメージをもたせてあげられら良いと思います。
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・Webページへの掲載 ・PTA、学校評議員会等での発表・説明 	

3 添付資料 学校評価アンケート（教職員・保護者・生徒）